



今日からはじめよう！

ごみのダイエツト通信 20

これから暖かい陽気が続くとい気になる「生ごみ」。ご家庭の台所でも「臭い」が気になりますが、ごみ集積場所でも臭いが出たり、生ごみの汁が出て汚れたり、カラスの被害にあったり…。

このような悩みを少しでも解消する方法を紹介します。

「生ごみの水分を減らそう！」

生ごみの半分以上は水分です。水分を減らすことで臭いを防止でき、生ごみの減量にもつながります。

○水に濡らさないように…

たまねぎの皮のように乾いたごみは、水分を含んだものとは別にして、野菜くずなどは台所の三角コーナーに入らずにざるに入れるなどして、捨てる前に水に濡らさないようにしましょう。

○「ギューっ」とひと絞り

お茶殻、ティーバッグ、コーヒー殻などは、捨てる前に水分を「ひと絞り」してから捨てましょう。

○乾かしてみよう

ひと絞りしたお茶殻や野菜くずなどは、もうひと手間かけて乾燥させてから捨てましょう。乾燥させることで「臭

い」の防止になります。

コーヒー殻は、乾燥させた後、いらなくなった容器に入れて、冷蔵庫や下駄箱に置いておくと脱臭剤にもなりません。

大磯町の燃せるごみの量は、年間約6千トン。そのうち約半分が生ごみです。

ご家庭で1日100cc(コップ半分)の水切りを行っていただくことで、年間約460トンのごみの減量につながります。

10月からは、燃せるごみ(可燃ごみ)も、平塚市で処理されます。ごみ処理のために平塚市に支払う負担金は、ごみの量によって変わってきます。

皆さんのひと手間で、ごみのダイエツトと、ごみ処理費用を減らしていきましょう。

